



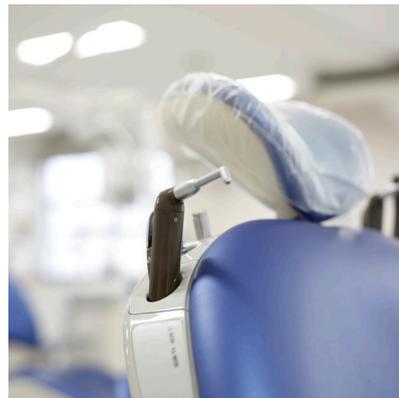
4.4

2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

歯科衛生士を志す学生の臨床実習における不安を緩和し、動機付けを行う

歯科衛生士は、歯科疾患の予防及び口腔衛生の向上を図ることを目的として、歯・口腔の健康づくりをサポートする専門職です。専門性の高い知識・技術が必要とされるため、「実践力」を養うための臨床実習は非常に重要です。

はじめて患者さんを目の前にすれば、多くの学生が緊張と不安でいっぱいになります。この「学生の不安の変化」を明らかにし、性格特性及び学業成績との関連性について研究を行っています。臨床実習のフェーズごとの「不安」の状態を明らかにすることで、学生個々の特性に配慮した心理支援ができると考えています。



message

まずは日常生活を見直し、資源を無駄にしないような工夫を試みようと思います。そして、学生指導や研究を通じて、自身が取り組むことができることを具体化しようと考えます。

大西 愛
医療保健学部
口腔保健学科